

新産業創出に向けた新技術先導研究プログラム

平成30年度予算額 **5.0億円**（新規）

事業の内容

事業目的・概要

- 新産業創出のためには、既存技術の延長だけでなく、従来の発想によらない、革新的かつ社会へのインパクトのある技術の原石の発掘が必要不可欠であるとともに、そのための土壌形成も重要です。
- このため、新産業の創出につながる革新的かつ社会へのインパクトが大きい技術の原石を選びすぎり、より洗練され、インパクトのある将来の国家プロジェクト化につなげる先導研究を実施します。
- また、技術戦略策定のための調査（重要な技術分野の見通しの俯瞰、当該分野をとりまく環境、重要技術抽出等）も行い、国家プロジェクトの立ち上げの一層の円滑化を図ります。
- なお、調査及び先導研究の結果は、上記に加え、国家プロジェクト化の過程で得た情報を公開し、民間企業等の研究開発推進にも貢献します。

成果目標

- 平成30年度から平成34年度までの5年間の事業であり、新産業の創出のための技術戦略策定において重要な技術分野の中から、本研究成果を活用した研究開発プロジェクト（国家プロジェクト等）の創出を目指します（平成34年度目標3件）。

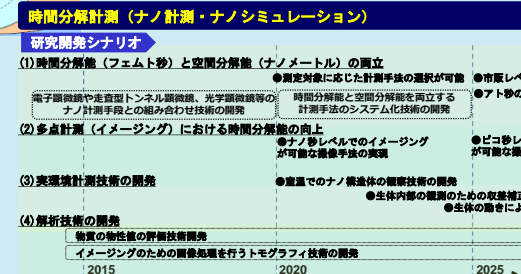
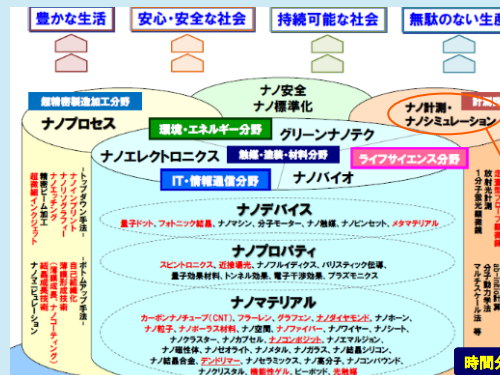
条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

調査イメージ（ナノテクノロジー分野の例）

- 技術の俯瞰や研究開発シナリオ等の検討



先導研究

【審査の視点】

技術の革新性・独創性及び研究開発成功時の産業等への波及効果・インパクトといった審査項目を重点的に評価し、新産業創出に裨益する技術・システムを積極的に採択する。

【予算規模及び執行体制】

1年間先導研究を実施し（ステージⅠ）、さらなる先導研究が必要有無かを評価し、必要と判断された案件については、1年間を上限に先導研究期間を追加（ステージⅡ）。

ステージⅠ：1億円以内/年、1年間、委託

ステージⅡ：1億円以内/年、1年間、委託